

兵庫県道路公社 中期経営計画

【令和5年度～8年度】



令和5年7月
兵庫県道路公社

1 はじめに

兵庫県道路公社は、播但連絡道路（以下、「播但道という」）（約65km）と遠阪トンネル（約5km）を管理しています。両路線は兵庫県基幹道路八連携軸を構成する自動車専用道路で、但馬地域と播磨・丹波地域を結び、「地域経済の活性化」、「交流の促進」、「渋滞解消」等に寄与するとともに、災害時の緊急輸送道路に指定されるなど、安全・安心で豊かな暮らしを支える重要な基幹道路です。



播但道は、令和2年5月に全線開通から20年、令和5年11月には最初の区間（砥堀～福崎間）の開通から50年を迎えます。道路法に基づく橋梁の2巡目法定点検（R2～R3）で早期措置が必要な橋梁が新たに確認されるなど、経年劣化等による損傷が顕在化していることから大規模修繕や橋梁耐震対策に重点的に取り組んでいます。

遠阪トンネルは令和5年5月に開通から46年が経過し、定期的な保守点検や日常管理の充実によりトンネル設備等の長寿命化に取り組んでいます。

これまでの取り組みを継続・進化し、将来にわたって安全・安心・快適な質の高いサービスを安定的に提供するため、県議会の議決を経て道路管理者である兵庫県知事の同意及び国土交通大臣の許可を得た事業許可を踏まえつつ、今後の取り組みの方向性を示す中期経営計画を策定しました。

| 路線 | 供用年 | 利用台数(令和4年度) |
|--------|-----------------------------------|------------------------|
| 播但道 | 昭和48年11月～ 砥堀から福崎の開通（約10km） | 約1,573万台/年 （43千台/日） |
| | 平成12年5月～ 姫路バイパスから和田山まで全線開通（約65km） | |
| 遠阪トンネル | 昭和52年5月～ トンネル部2.6kmを含む約5km開通 | 約309万台/年 （8千台/日） |
| | 平成18年7月～ 北近畿豊岡自動車道との接続 | |

2 経営理念

～兵庫の元気を地域とともに創る～

安全を最優先し、いつでも安心して快適に利用できる道路サービスの提供により交流を促進し、持続的に成長する元気な地域づくりに貢献します

<職員の行動指針>

- (1) 私たちは、「安全はつくりあげるもの」との認識のもと、すべての局面で安全を最優先します
- (2) 私たちは、地域の発展を担う基幹道路を高い水準で管理する誇りと責任感を持ち、職員は成長し、組織は進化し続けます
- (3) 私たちは、明るい挨拶、3S（整理・整頓・清掃）を率先し、やりがいのある「活気に満ちた職場（チーム）」をつくります

3 ビジョン

- (1) 将来にわたって安全・安心に利用できるよう、老朽化対策・防災対策を重点的に推進します
- (2) いつでも快適に利用できる質の高い道路サービスを提供します
- (3) 良好な道路サービスを持続的に提供できる経営の確立に取り組めます

4 中期経営計画（令和5～8年度）

(1) 計画の位置づけ

経営理念やビジョンのもと目指すべき中期的な目標を具体的に推進するための行動計画となるものです。

(2) 計画の期間

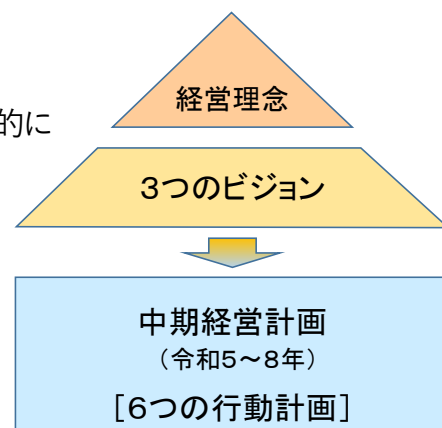
令和5年度から令和8年度の4年間とします。

※播但道における橋梁耐震対策の目標年度（全線2車線（4車線区間は下り線）令和8年度完了）までの期間としました。

(3) 行動計画

3つのビジョン及び行動計画の構成は以下のとおりです。

行動計画を通して持続可能な社会の実現に貢献していきます。



ビジョン

- (1) 将来にわたって安全・安心に利用できるよう、老朽化対策・防災対策を重点的に推進します
- (2) いつでも快適に利用できる質の高い道路サービスを提供します

行動計画1 橋梁・トンネル大規模修繕の計画的な実施



播但道は、約6割の構造物が35年を経過し、経年劣化等による損傷が顕在化しています。

橋梁の2巡目法定点検（R2～R3）の結果等を踏まえて、令和5年度に改定する「インフラ長寿命化計画」に基づき必要な対策を早期かつ計画的に推進します。また、大規模修繕の必要性等について県民やご利用の皆様にご理解いただけるよう、わかりやすいPRにも取り組みます。

- ① 損傷の進行を未然に防ぐ予防保全の観点のもと、構造物の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減に努めます。
- ② 点検で新たに早期措置が必要と判定された橋梁や著しく劣化進行が速く重大事故に繋がる恐れのある損傷が確認された橋梁など、緊急度の高いものから優先的かつ計画的に修繕を行います。
- ③ PDCA サイクルにより、管理レベルを継続的に高めていくとともに、定期点検の結果等に基づき計画の見直しを適宜行います。
- ④ 通行止めや車線規制など交通への影響ができる限り小さくなるように配慮します。
- ⑤ 床版防水工や適切な排水対策など損傷の原因を排除し、耐久性を向上する対策に取り組みます。

〔全体計画と対策計画（R5～R8）〕

| 構造物 | 単位 | 施設数 | 判定区分及び必要対策施設数 (R1～R10) | | | R4までに完了済 | | | 対策計画 (R5～R8) | | | 備考 | |
|------|----|-----|---------------------------|----------------|-----|---------------------|----------|-----|-----------------|-----|----|----|----------|
| | | | I (健全) | II (予防保全段階) | | III (早期措置 段階) | II 優先 | III | II 優先 | III | | | |
| | | | | 軽微 | 優先 | | | | | | | | |
| 橋梁 | 橋 | 212 | 0 | 91 | 102 | 19 | 17 | 2 | 15 | 61 | 57 | 4 | Ⅲ対策はR5完了 |
| トンネル | 箇所 | 16 | 0 | 5 | 4 | 7 | 9 | 2 | 7 | 2 | 2 | 0 | Ⅲ対策はR2完了 |

※R4までの点検結果による数値であり、今後の定期点検の結果により、適宜、修繕計画を見直す予定。

〔R5～R8に取り組む主な施設〕

| | | |
|------|-----|----------------------------|
| 橋梁 | 61橋 | 天川2号橋、市川大橋1～6、越知川大橋、真弓大橋ほか |
| トンネル | 2箇所 | 森垣トンネル、朝来第2トンネル |



【修繕事例：鋼橋の床版取替】



【修繕事例：トンネル覆工背面の空洞充填】

行動計画2 緊急輸送道路としての新たな橋梁耐震対策の実施



播但道では、阪神・淡路大震災を踏まえ、橋梁の倒壊・落橋防止等の耐震対策に取り組んできましたが、熊本地震（平成28年4月）の教訓を踏まえ、緊急輸送道路として、発災後速やかに救援・復旧復興物資を輸送する車両が円滑に通行できるよう、支承の補強等を行う「橋としての機能を速やかに回復できる対策」を重点的に推進します。

令和8年度までに全線2車線（4車線区間は下り線）の対策完了、その後、他の40橋についても早期完了を目指します。

- ① 法定点検の結果、Ⅲ判定（早期措置段階）となった橋梁の修繕との一体施工等により耐震対策を効率的に推進します。
- ② 橋梁形式や支承高を考慮した優先度に応じて効率的・効果的に耐震対策を推進します。
- ③ 地域の地震発生確率や橋梁の規模・建設時期等を踏まえ、基本的には南側から順番に耐震対策を進めます。

〔全体計画と対策計画（R5～R8）〕

| 構造物 | 単位 | 橋梁数 | 対策橋梁数 (R1～) | R4までに 完了済 | 対策計画 (R5～R8) | 備考 |
|-----|----|-----|----------------|--------------|-----------------|----------------------------------|
| | | | | | 計画橋梁数 | |
| 橋梁 | 橋 | 212 | 81 | 1 | 40 | 全線2車線(4車線区間は下り線)の対策完了、他の40橋も早期完了 |

※老朽化対策（Ⅲ判定）と一体的に工事を行う場合は計画を見直す予定

〔R5～R8に取り組む主な施設〕

| | | |
|----|-----|--|
| 橋梁 | 40橋 | 第1～8高架橋（下り）、豊国第2・3橋（下り）、庄第4～7橋（下り）、生野橋、向田橋ほか |
|----|-----|--|



【対策事例：橋脚補強】



【対策事例：落橋防止装置】



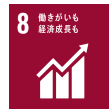
【対策事例：支承部の補強】



【第8高架橋施工状況（R5.6）】



【第8高架橋施工状況（R5.6）】



① 日常管理の確実な実施と災害・事故等への備え

- ・ 日常管理については、道路設備の監視制御や道路パトロール等、24時間365日体制による交通管理を行い、落下物や道路構造物の異状等の早期発見に努め、必要な対応を行います。
- ・ 近年、豪雨災害が頻発・激甚化する中でも公社独自に構築した「オンライン気象情報提供システム」を活用して、沿線地域の気象状況（雨量・風速・降雪量等）を効率的に把握し、必要に応じ通行規制等を迅速に行うことにより、ご利用の皆様の安全を確保します。
- ・ 播但道と並行する側道については、各側道管理者（市川町・神河町・朝来市）と連携して毎年、出水期前点検を実施し、土砂流出等による災害の未然防止に取り組みます。
- ・ 事故や災害の発生時に、迅速かつ適切な交通規制等の対応を行うため、緊急事態を想定した訓練や研修を定期的実施します。



【交通管制室】



【規制訓練状況】

② 継続的な維持修繕の実施

- ・ 安全・快適に走行していただくため、路面性状調査結果等に基づき、早急に舗装修繕が必要な区間（MCI：3以下）の対策を重点的に進めます。
- ・ トンネルが連続する市川北ランプから和田山IC間では、トンネル内の側壁・ジェットファン・照明器具などの点検・清掃、舗装の修繕等を集中的に実施し、走行環境の改善に努めます。

※MCI (Maintenance Control Index : 舗装の維持管理指数) とは、路面の性能を「ひび割れ率」、「わだち掘れ量」及び「平坦性」という路面性状値によって定量的に評価する指数(10点満点)。平成27年度調査結果のMCI値から設定。(維持修繕基準) MCI4以下: 修繕が必要、MCI3以下: 早急に修繕が必要

〔全体計画と対策計画(R5~R8)〕

| 種別 | 単位 | 対策延長 (R5~R12) | 対策計画 (R5~R8) | 備考 |
|------|----|------------------|-----------------|------------------|
| | | | 計画延長 | |
| 舗装修繕 | km | 60 | 27 | 延長は車線延長により計上している |

〔R5~R8に取り組む主な区間〕

| | | |
|------|------|---------------------------|
| 舗装修繕 | 27km | 豊富ランプ付近、市川南ランプ付近、朝来SA付近 他 |
|------|------|---------------------------|



【舗装修繕】



【トンネル清掃状況】



【ジェットファン点検・清掃状況】

③ 安全・安心・快適な走行環境の確保

- ・播但道では全 15 トンネルのトンネル照明のLED化が令和4年度に完了しました。引き続き一部未了の姫路JCT部の道路照明のLED化に取り組みます（施工時期は通行規制の影響も踏まえて検討）。また遠阪トンネルのトンネル照明LED化についても対応方針の検討を進めます。
- ・播但道では、料金収受体制の効率化に繋がる料金所に料金自動収受機を導入し料金所のタッチレス化にも取り組みます。
- ・道路整備特別措置法の改正も踏まえ、不正通行車両の対策強化を検討していきます。

〔R5～R8の主な取り組み〕

| | |
|----------------|--------------------------|
| 道路・トンネル照明のLED化 | 播但道（姫路JCT部）の道路照明LED化 34灯 |
| 料金自動収受機の導入 | 市川南ランプ・神崎南ランプの出口料金所 4レーン |



【トンネル照明LED化】



【料金自動収受機】

④ 電気・機械設備の更新・点検整備

- ・電気・機械設備については、保守点検・日常管理による長寿命化に取り組むとともに、耐用年数等に応じ必要な設備更新を計画的に進めます。



【ETC車線表示板点検】



【路側表示機点検】

〔R5～R8の主な更新取り組み〕

| | | |
|-----------|-------|----------------|
| 道路情報版・表示板 | 8基 | 西田原付近、花田IC付近 他 |
| 料金収受機械 | 39レーン | 花田料金所、和田山料金所 他 |
| ETC設備 | 8レーン | 花田料金所、船津料金所 他 |
| ITV設備 | 8基 | 市川北付近、神崎北付近 他 |

⑤ 凍結等対策

- ・冬期においても安全・安心にご利用いただけるよう、除雪作業や凍結防止作業を適切に行い、良好な路面管理に努めます。
- ・積雪時は、冬用タイヤの装着確認・指導を行い、スリップ等による事故、立ち往生による交通渋滞等を未然に防止するとともに、除雪作業を効率的に実施します。
- ・令和5年1月の大雪を踏まえ、国土交通省など関係道路管理者との連携を強化し、適切な規制情報等の発信や円滑な迂回誘導に取り組みます。



【除雪状況】



【冬用タイヤ装着指導状況】

⑥ 道路上への動物侵入対策

- ・道路上への鹿等の動物侵入による接触事故を未然に防止し、安全・安心に走行していただくため、R5 年度完成に向け柵の新設や既設柵の嵩上げ（1.5m⇒2.5m）を進めています。



行動計画4 サービスエリア・パーキングエリアの充実



播但道には、市川サービスエリア、朝来サービスエリア、豊富パーキングエリア、和田山パーキングエリアがあります。快適で賑わいあるサービスエリア・パーキングエリアとするため、引き続き、営業事業者等と連携・協力してサービスの向上に努めます。

① 沿線市町等と連携した地域活性化

- ・サービスエリアの一部スペースを沿線市町の特産品・観光資源や地元の観光協会や企業など幅広くPRができる場として提供するなど、沿線市町等と連携し地域活性化にも取り組みます。

② 電気自動車用急速充電設備の導入検討

- ・環境にやさしい高速道路の実現とサービスエリアの利便性向上のため、市川サービスエリア（北行き）において電気自動車用急速充電設備の導入検討を進めます。

③ 次期営業事業者の公募

- ・契約期限を迎える市川サービスエリアの次期営業事業者の公募にあたっては、より快適で賑わいあるサービスエリアとするために募集内容を検討します。



(3) 良好な道路サービスを持続的に提供できる経営の確立に取り組みます

新型コロナウイルス感染症の影響により一旦減少した交通量もほぼ回復しています。しかしながら、将来的には、沿線の人口減少の進展により交通量は減少し、収入も頭打ちになると予測しています。このため、県・沿線市町等との連携をより深め、地域の活性化に繋がる利用促進を図るとともに、健全な経営を目指します。



行動計画5 良好な道路サービスを持続的に提供するための健全な経営

建設費の着実な償還、適切な維持管理の推進のため、以下の取り組みを進めます。

① 予防保全等による維持管理費の縮減

- ・ これまでも行財政構造改革計画に基づき人件費削減などに取り組んできました。今後、予防保全や新技術・新工法の積極的な導入等により構造物の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減に努めます。
- ・ 施工の効率化、維持管理の高度化を進め、長期的な維持管理費の縮減に努めるとともに、防草シート等による除草コストの縮減等の取り組みにより維持管理費を縮減します。

② 業務の効率化

- ・ 料金自動収受機の導入による料金收受業務の効率化・コスト縮減の取り組みを進めます。
- ・ 工事においての大規模修繕と耐震対策の同時施工や交通管理業務等における長期継続契約など業務の効率化・コスト縮減に努めます。

③ 大規模修繕・橋梁耐震対策・設備更新のための資金確保

- ・ 播但道では、将来にわたって健全な状態で管理していくために構造物の大規模修繕および橋梁耐震対策に必要な資金（計170億円）を確保するため、各世代間の負担の公平性の観点から、令和2年3月に料金徴収期間を令和24年10月まで10年間延長しました。
- ・ 遠阪トンネルでは、昭和52年供用開始から45年以上が経過し、保守点検・日常管理により長寿命化してきたトンネル設備の老朽化が著しいことから、今後の対応方針の検討を進めます。
- ・ 道路整備特別措置法の改正や国の動向等を踏まえ、大規模修繕・橋梁耐震対策・設備更新のための資金確保の方策を検討していきます。



【播但道 新幹線大橋】



【播但道 福岡南R～福岡北R間】

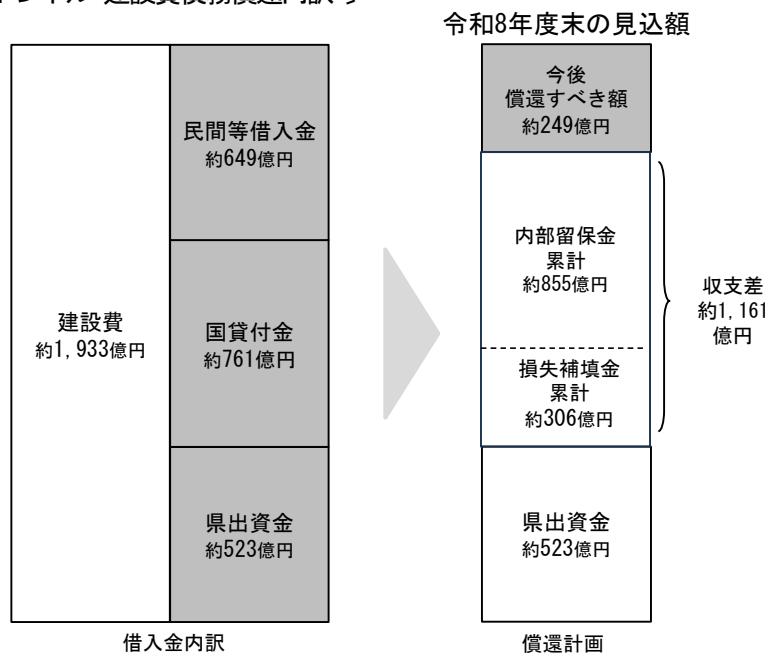


【遠阪トンネル 料金所】

④ 健全な経営

- ・播但道の大規模修繕・橋梁耐震対策工事などのため、本計画期間中は一時的に投資額が大きくなりますが、償還期限（播但道は令和24年、遠阪トンネルは令和8年）までの債務完済に向けて、計画的に償還を進めます。
- ・経営の状況については、公社等運営評価委員会による点検・評価に基づく指導・助言や公認会計士による指導を受けて健全な経営に努めます。

〔 播但道・遠阪トンネル 建設費債務償還内訳 〕



※内部留保金：償還準備金、付帯事業等の剰余金

※損失補填引当金：災害や経済事情の変動等将来事情の不可測性により生じた料金徴収期間満了時の未償還額を補填するために積み立てている。未使用額については、有料道路事業の枠組みの中では本来道路管理者の県に返還される。

| | 単位 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|------------------|----|-------|-------|-------|-------|
| 事業収入 | 億円 | 61 | 62 | 60 | 51 |
| 事業支出 | 億円 | 76 | 47 | 50 | 48 |
| 管理事業費（大規模修繕等を除く） | 億円 | 45 | 33 | 35 | 33 |
| 大規模修繕・橋梁耐震対策工事費※ | 億円 | 31 | 14 | 15 | 15 |
| 収支差(損失補填引当金を含む) | 億円 | -15 | 15 | 10 | 3 |

※令和5年度は当初予算（令和4年度の繰越を含む）、令和6～8年度は現計画ベースの見込額（R5年6月時点）を記載

※大規模修繕・橋梁耐震工事などのため、本計画期間中は一時的に投資額が大きくなる

行動計画6 利用促進の取り組み



① 料金割引の実施

- ・播但道では、全線開通当時（平成12年）姫路JCT～和田山の普通車通行料金を2,000円としていました。平成18年からは地域間交流の促進や渋滞対策のため、基本料金の値下げをしたうえで、表のとおり各種料金割引を実施しています。
- ・遠阪トンネルでは、北近畿豊岡自動車道と接続した平成18年から基本料金を値下げしています。
- ・社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会の中間答申（令和3年8月）や国の動向等を踏まえ、良好な道路サービスを持続的に提供するための方策を検討していきます。

| | | 割引率・割引対象 | 姫路JCT～和田山 | | | | |
|------|--------|------------------------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 普通車 | 軽自動車等 | 中型車 | 大型車 | 特大車 |
| 基本料金 | | — | 1,470円 | 1,150円 | 1,720円 | 2,390円 | 3,980円 |
| 割引料金 | 休日割引 | 30%引 普・軽 (ETC 限定) | 1,030円 | 810円 | — | — | — |
| | 休日全線割引 | 40%引 普・軽 (ETC 限定) | 880円 | 690円 | — | — | — |
| | 通勤割引 | 30%引 普・軽 (ETC 限定) | 1,030円 | 880円 | — | — | — |
| | 深夜割引 | 40%引 中型車以上 (ETC 限定) | — | — | 1,030円 | 1,440円 | 2,390円 |

② 県・沿線市町など関連団体と連携した利用促進

- ・県・沿線市町や「銀の馬車道」「山陰海岸ジオパーク」「鉱石の道」の各協議会などの関連団体と連携し地域交流を図る施策により利用促進を図ります。また、市川SA等を活用した地域の特産品や観光資源のPR活動等についても引き続き取り組んでいきます。

③ NEXCO西日本等と連携した企画割引（周遊ドライブパス）の実施

- ・事前登録したETCカードを利用して、播但道と遠阪トンネルを含む周遊エリア内が定額料金、乗り降り自由・乗り放題となる割引プランをNEXCO西日本等と連携して実施します。

④ 多様な媒体による情報発信

- ・ホームページ、広報誌、SNS、ラジオ等の各種媒体を効率的に用いて、大規模修繕等の必要性や取組状況、各種イベントや工事情報等の、わかりやすくタイムリーな情報発信に努めます。